

Q&A 先月の技術相談から

技術支援制度について

Q：林産試験場には、技術的にサポートする制度があると聞いたのですが、こういった制度があるのですか？また、それらを利用するにはどうしたら良いのですか？

A：企業等を技術的にサポートする下記の各種支援制度をご用意しています。手続きの流れや料金、申込み方法などは、当場のホームページでご紹介していますので、下記のアドレスをご覧ください。

<http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/support/index.html>

- 「技術相談」

木材の基本的な性質から高度な利用技術、製品開発など、電話やFAX、Eメール等によってお寄せいただいた相談にお答えします（無料）。

- 「依頼試験」

日本工業規格(JIS)や日本農林規格(JAS)の規格等に基づいて試験や分析等を実施して、製品の性能等をお調べします（有料）。

- 「技術指導」

技術的な問題を解決するため、職員が場内もしくは現地へ出向いてアドバイスします。なお、現地へ出向く場合は旅費相当額をご負担いただきます。

- 「課題対応型支援」

簡易的または短期的に試験、分析、測定、調査、評価等を実施し、得られたデータに基づいて技術的な問題の解決に向けたアドバイスをします。なお、この制度は「依頼試験」と「技術指導」を組み合わせた制度であり、旅費相当額等の実費と、試験等を伴う場合は依頼試験手数料をご負担いただきます。

- 「講師等派遣・依頼執筆」

企業等が開催する講習会や講演会等へ当場の職員を講師として派遣、または研究成果や知見に関する原稿を刊行物等に執筆します。なお、講師等派遣の場合、旅費相当額をご負担いただきます。

- 「設備使用」

試作品製造などの研究開発や、性能試験などに林産試験場の設備をご活用ください（有料）。ただし、販売を目的とする製品の製造には使用できません。

- 「技術研修」

基礎から製品開発まで、技術修得のための研修を林産試験場において実施します（一部有料）。技術力向上にご活用ください。

- 「名義使用」

技術指導や依頼試験の結果および成果等をもとに、カタログやパンフレット、ホームページ、商品包装等の広告物に、道総研の名義を使用する場合は、事前に承認手続きが必要になります（無料）。

そのほかにも、企業等と林産試験場で業務を分担しながら、製品開発等の試験研究を行う「共同研究」や、自ら研究開発することが難しい企業等の依頼を受けて、林産試験場が単独で試験研究を実施する「受託研究」があります。

これらの技術的なサポートを受けるには、当場の職員もしくは技術支援グループまで、お気軽にご相談ください。技術支援グループにご連絡いただいた場合は概略を伺った上で、対応が可能な職員におつなぎします。詳細をご相談ください。なお、相談の内容によってはお答えしかねる場合や、より適切な試験研究機関をご紹介します場合がありますので、その旨ご了承ください。

また、ご利用になる制度によって手続きや申込み方法が異なります。詳細は、前述のアドレスにあるそれぞれの制度に掲載していますので、ご確認ください。ご不明の点等ございましたら、技術支援グループまでお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

企業支援部技術支援グループ

TEL：0166-75-4242/FAX：0166-75-3621

E-mail：rinsan-ext@ml.hro.or.jp

（企業支援部 技術支援グループ 岸野正典）